

# 共立女子第二中学校 平成24年度入試

## 入試問題分析

### 国語

#### 1 回 午 前

##### ①各問題の正答率(②は2科受験、④は4科受験)

- 一、説明文(40点) 平均 ②27.2点④28.1点 正答率 ②68%④70%
- 二、物語文(40点) 平均 ②30.1点④30.7点 正答率 ②75%④77%
- 三、文法(10点) 平均 ②6.5点④6.9点 正答率 ②65%④69%
- 四、漢字(10点) 平均 ②8.7点④9.1点 正答率 ②87%④91%

##### ②出典

###### 一、説明文

出典 日高敏隆『動物の言い分 人間の言い分』  
(角川oneテーマ21)

###### 二、物語文

出典 中野幸隆『赤いマフラー』  
(「読んでおきたい 5年生の読みもの」 学校図書)

#### 1 回 午 後

##### ①各問題の正答率

- 一、説明文(40点) 平均 23.5点 正答率 59%
- 二、物語文(40点) 平均 15.3点 正答率 38%
- 三、文法(10点) 平均 6.9点 正答率 69%
- 四、漢字(10点) 平均 7.6点 正答率 76%

##### ②出典

###### 一、説明文

出典 中村明『日本語のコツ』 (中公新書)

###### 二、物語文

出典 豊島ミホ『瞬間、金色』  
(「Re-born はじまりの一步」 実業之日本社)

#### 2 回 午 前

##### ①各問題の正答率(②は2科受験、④は4科受験)

- 一、説明文(40点) 平均 ②26.3点④29.2点 正答率 ②66%④73%
- 二、物語文(40点) 平均 ②28.6点④29.2点 正答率 ②72%④73%
- 三、文法(10点) 平均 ②5.9点④6.3点 正答率 ②59%④63%
- 四、漢字(10点) 平均 ②8.6点④8.7点 正答率 ②86%④87%

##### ②出典

###### 一、説明文

出典 玄田有史『希望のつくり方』 (岩波新書)

###### 二、物語文

出典 堀直子『ベストフレンドーあたしと犬と!』 (あかね書房)

#### 2 回 午 後

##### ①各問題の正答率

- 一、説明文(40点) 平均 16.3点 正答率 41%
- 二、物語文(40点) 平均 23.4点 正答率 59%
- 三、文法(10点) 平均 7.3点 正答率 73%
- 四、漢字(10点) 平均 6.9点 正答率 69%

##### ②出典

###### 一、説明文

出典 茂木健一郎『脳は0.1秒で恋をする』 (PHP研究所)

###### 二、物語文

出典 朝比奈蓉子『たたみの部屋の写真展』 (偕成社)

#### 3 回 午 前

##### ①各問題の正答率(②は2科受験、④は4科受験)

- 一、説明文(40点) 平均 ②16.0点④19.0点 正答率 ②40%④48%
- 二、物語文(40点) 平均 ②23.6点④25.0点 正答率 ②59%④63%
- 三、文法(10点) 平均 ②6.4点④6.1点 正答率 ②64%④61%
- 四、漢字(10点) 平均 ②7.4点④7.9点 正答率 ②74%④79%

##### ②出典

###### 一、説明文

出典 茂木健一郎『ひらめき脳』 (新潮新書)

###### 二、物語文

出典 森忠明『その日が来る』  
(「光村ライブラリー15「ガラスの小びんほか」 光村図書)

#### 国語の分析と解説

国語の出題傾向は毎年ほぼ変わっておらず、説明的文章の読解40点、文学的文章の読解40点、文法10点、漢字の書き取り10点となっている。この傾向は 24 年度入試以降も引き続き変えない方針である。

##### [1回午前]

一、問一の接続詞の問題はよくできていた。問三の文中の表現を使って説明する問題では、書くべき要素が不足した解答が目立つ。また、解答内には指示語(その・そこ、など)を入れないように注意してほしい。問六・七のような答えを文中から書き抜いて答える問題では、抜き出しミスをしないように注意してほしい。「眠」という字のミスが目立つ。問十の空欄補充は、特に⑩ができていない。しっかりと文脈を把握する練習が必要。

二、全体的によくできている。問四では、「お父さんとおそろい」を準備していたことを説明することが必要。問五・六・七のような答えを文中から書き抜いて答える問題では、抜き出しミスをしように注

意してほしい。

#### [1回午後]

一、問六は全体的にできていない。傍線部を含め、前後の文脈を把握する練習が必要。問七の読点を打つ問題は、「まげて」の後に打ってしまう誤答が多い。この場面における意味内容をしっかり把握した上で取り組むことが必要。問八・九はよくできていたが、問九では「遅」や「詰」という字のミスが目立つ。問十はこの場面の状況を把握できていない解答が多い。飲み物が運ばれてこないの、「催促」しようとしていることを意識する。

二、問四はよくできていた。問五は、「ナナミが夏休みの間にイメチェンしたこと」と「クラスで仲間外れにされていること」の2つのポイントで採点したが、両方のポイントを満たしている解答は少なかった。問九は、逆接の言葉が答えなのだが、「だから」などの順接の言葉が目立った。後半は記号の問題ですら空欄のままの人が目立った。大問一に時間をとられ、時間内に最後まで解ききれなかったのではないだろうか。

#### [2回午前]

一、社会調査のデータから論理的に考察を導く設問に関してはおおむね良好であった。問二、問五の誤答が目立ったが、どちらも語彙の知識を問う出題である。問七の記述は文体の混同や、不要な句点を入れるなどのケアレスミスが見られた。

二、内容の理解はほぼできており、全体的に好成績だった。ただ、記述問題において前後の言葉につながらない答え方が多少見られた。答の見直しが求められよう。

#### [2回午後]

一、抜き出しの問題で、正しく書き写せないものが大変多かった。文中の語句を使用して説明をするときに、適所、適語を使用できないものが多かった。

二、全体的によく出来ていた。記述問題については、文末処理での減点が多い。必ず文末には読点を、また理由を問われた場合には「～から」など問題文に対応した答え方に注意してほしい。また、本文中の言葉を用いて、とあっても自分の言葉で書いている解答が目立った。

#### [3回午前]

一、文脈から言葉の意味を推し量る力、文脈理解後、それに合った文を考え正しく表現する力が弱いようだ。

二、内容はほぼよく理解できていた。記述問題において、大きくのは外れていないが、文をまとめる力がやや弱いようだ。

## 算 数

### 1 回 午 前

#### ○各問題の正答率

- (1) 64% (2) 90% (3) 87% (4) 91% (5) 61%  
(6) 79% (7) 56% (8) 62% (9) 79% (10) 38%
- (1) 48% (2) 56% (3) 14% (4) 6%
- (1) 52% (2) 51%      4. (1) 55% (2) 43%
- (1) 45% (2) 13%

### 1 回 午 後

#### ○各問題の正答率

- (1) 88% (2) 76% (3) 66% (4) 82% (5) 60%  
(6) 91% (7) 65% (8) 84% (9) 47% (10) 37%
- (1) 27% (2) 19%      3. (1) 10% (2) 12%
- (1) 80% (2) 88% (3) 14%
- (1) 53% (2) 41% (3) 3%

### 2 回 午 前

#### ○各問題の正答率

- (1) 77% (2) 77% (3) 79% (4) 82% (5) 31%  
(6) 13% (7) 31% (8) 41% (9) 13% (10) 28%
- (1) 15% (2) 8%      3. (1) 69% (2) 31%
- (1) 18% (2) 13%      5. (1) 26% (2) 18%
- (1) 46% (2) 31%

### 2 回 午 後

#### ○各問題の正答率

- (1) 70% (2) 49% (3) 87% (4) 75% (5) 23%  
(6) 25% (7) 25% (8) 25% (9) 8% (10) 64%
- (1) 43% (2) 4%      3. (1) 17% (2) 2%
- (1) 26% (2) 2%      5. (1) 8% (2) 8%
- (1) 0% (2) 0%

### 3 回 午 前

#### ○各問題の正答率

- (1) 69% (2) 77% (3) 77% (4) 54% (5) 92%  
(6) 15% (7) 8% (8) 31% (9) 0% (10) 8%
- (1) 23% (2) 0%      3. (1) 62% (2) 31%
- (1) 38% (2) 23%      5. (1) 0% (2) 0%
- (1) 13% (2) 15%

## 算数の分析と解説

### ● 1回午前

大問1については、例年通りよくできていたが、(1)のような計算式が少し長い場合でも、計算順序を間違えないような練習をしておくとうい。 (5)は、例年出題している食塩水に関する問題で、食塩の量は変わらないことがポイントである。(10)は、同じ数字のカードが2種類あるので、3けたを作る数字の組合せを考え、それぞれで何通りになるかを調べると答えを導きやすい。大問2はグラフが何を表しているのかを読みとり、速さと時間と距離の関係を利用できるようにしておくとうい。特に(2)では、速さの割合とかかる時間の割合は逆になることを利用すると簡単に解くことができる。大問3は等しい角に注目し、わかる角を書き出していけば、全ての角の大きさを求めることができる。大問4は(1)、(2)ともに、直角二等辺三角形とおうぎ形を利用して求められる。大問5は、円柱から円柱をくりぬいた立体で、(2)の表面積は、上、下、側面、内側の側面の4つの視点から考えると簡単に求めることができる。

### ● 1回午後

大問1については、(1)、(2)、(4)、(6)のような計算問題は正答率が高いが、(3)のような少し式が長いものでも、正確に計算できる力も身につけておいてほしい。また、(5)、(7)、(9)、(10)のような、割合に関する問題も基本的な内容なので、よく練習しておくとうい。特に(5)は3%の食塩水を300gとする、(10)は姉と妹のカードの合計を1とするなど、問題の内容を自分の考えやすい値に変えてみる工夫をしてもよい。大問2(1)は、1回午前の大問2と同様に、速さと時間の比は逆になることに着目すれば難しい問題ではない。大問3(2)は円すいの底面の円の半径から解いていけば答えを導ける。大問4は記号の意味を理解し考える問題であるが、よくできていた。大問5(3)は1(10)と同じように平行四辺形の面積を1として考えてみると解きやすい。

### ● 2回午前

大問1の計算問題に関しては、とてもよく出来ていたので、(5)以降の割合に関する問題を解けたかどうか、多く得点できたかのポイントとなった。(9)は比例に関する問題だが、高い地点の方が気温は低くなることに注意したい。大問2は、記号の入りは(1)、(2)ともに6通りなので、落ち着いて計算をしていけば答えを導くことができる。大問3は、どの部分の面積を引くのか足すのかを判断することが必要である。大問4(1)は、問題で説明されている作業の通りに、切り取る前の直方体の体積から、切り取られた立体の体積を引くことがポイントである。(2)の表面積は、円すいの展開図から求める練習をしておくとうい。大問5は、グラフの書かれている、たて・横の1マスがいくつなのかを読み取ることがポイントである。

### ● 2回午後

大問1(2)のような、小数と分数を同時に扱う計算に関しては、小数か分数のどちらかに統一してから計算すれば良い。(5)、(7)のような割合に関する問題は、例年出題している内容なので、しっかり練習しておくとうい。(9)は最小公倍数を利用する。大問2(2)は、全員が40点だった場合の合計点と実際の合計点との差を利用して、人数を求めることができる。大問3の回転体は、円柱の上に円すいをのせた立体である。(2)の表面積は、円周率を最後にまとめてかければ、簡単に答えを導くことができる。大問4は、点Pが動いたあとは、どのような図形になっているかを考える問題。特に、角を通る様子を考えるには、点Pとその角を結んでみると考えやすくなる。大問5では、共子さんの動きのグラフを書き込んで考えてみると、バスと共子さんの様子を見ることができる。大問6は、水そうの容量を1と考えることがポイントである。

### ● 3回午前

大問1(1)~(3)のような計算問題は、よくできていた。(6)は4でわると3あまる数は、3も含まれることがポイントである。(9)は、けたを間違えないようにしたい。また、(7)、(10)や大問6のような、四捨五入して答える問題での間違いが多かったので、普段から四捨五入する位に注意をする練習をしておくとうい。大問2は場合の数の問題で、(1)は、百の位に0がくることはないので、まず百の位の数を決め、次に一の位に偶数、最後に十の位という順番に考えていくとうい。(2)は、それぞれの位の数を足したら3の倍数である数は3の倍数となるので、数の組合せは【0, 1, 2】【0, 2, 4】【1, 2, 3】【2, 3, 4】であることがポイントである。大問5は、正方形に対角線を引き、三角形の面積と比の関係を利用すればよい。

全ての入試を通して、大問1の問題は8割以上を出来るようにしていき、大問2以降は、少なくともそれぞれの大問で1問は解けるようにしておけば、6割以上の得点は十分に獲得できる内容になっています。毎回出題する、逆算や食塩水については、様々なパターンを練習しておきましょう。また、グラフの読み取り、比を利用して数値や面積を求める問題は、中学校でも学習を続けていく内容で、本校の入試において頻出問題なので、しっかり身に付けておきましょう。さらに、面積や体積の問題で、円周率は最後にまとめてかけ算をするような計算方法を覚えておくこともお勧めします。本校は、難問・奇問は出題していないので、表現が難しく感じる問題でも、落ち着いて内容を分析し、効率よく計算するように心掛けて取り組んで下さい。

## 社 会

### 1 回 午 前

#### ○各問題の正答率

- 1 問1 80% 問2 38% 問3 30% 問4 58% 問5 30%  
問6 97% 問7 69% 問8 86% 問9 44%
- 2 問1 13% 問2 55% 問3 61% 問4 33%  
問5 72% 問6 36% 問7 52%
- 3 問1 91% 問2 47% 問3 88% 問4 75% 問5 80%  
問6 61% 問7 86% 問8 91% 問9 50%

### 2 回 午 前

#### ○各問題の正答率

- 1 問1 63% 問2 21% 問3 57% 問4 63%  
問5 5% 問6 26% 問7 10% 問8 (1)47% (2)57%
- 2 問1 63% 問2 68% 問3 42% 問4 36%  
問5 52% 問6 63% 問7 73% 問8 (1)68% (2)57%
- 3 問1 47% 問2 31% 問3 68% 問4 52%  
問5 68%

### 3 回 午 前

#### ○各問題の正答率

- 1 問1 37% 問2 62% 問3 50% 問4 37%  
問5 25% 問6 50% 問7 25% 問8 12%  
問9 12%
- 2 問1 12% 問2 12% 問3 12% 問4 37%  
問5 12% 問6 25% 問7 25% 問8 0%
- 3 問1 62% 問2 62% 問3 12% 問4 37%  
問5 12% 問6 62% 問7 37% 問8 25%

### 社会の分析と解説

例年と同様、1問2点×25問の50点満点で、地理・歴史・公民それぞれからバランスを取って出題した。世界地理(国の位置)と時事問題の出題も例年通りだが、今年度はやや時事問題の出題を増やした。全体として気づいたことは、間違えやすいであろう用語(ワカタケルや伊能忠敬など)は正解しても、基本的な用語(淡路島や桓武天皇など)が漢字で答えられないという惜しいミスが目立った。また、基本的な時事用語(民主党やアラブの春など)の正答率も予想以上に低かった。時事問題を含め、公民の基礎的な学習を日々継続していくことが大切である。

来年度以降も出題傾向の大きな変更はないと思われるので、3分野全範囲にわたって基礎的な漏れがないような学習が望まれる。時事問題対策としては、日頃から新聞の1面だけでも読んでおきたい。細かい内容にまで触れなくても、国内および国際的に起こっているニュースを大局的に知ろうとする姿勢を、日頃から養うことが大切である。

## 理 科

### 1 回 午 前

#### ○各問題の正答率

- 1 問1 (1)B 81% E 67% (2)53% (3)92%  
問2 (1)64% (2)47% (3)47%
- 2 問1 気体 61% 性質 39% 問2 61%  
問3 記号 69% 名前 53% 問4 35%
- 3 問1 (1)19% (2)86% 問2 39% 問3 47%  
問4 17% 問5 19%
- 4 問1 58% 問2 (1)56% (2)50%  
問3 (1)75% (2)42% 問4 (1)53% (2)19%

### 2 回 午 前

#### ○各問題の正答率

- 1 問1 42% 問2 39% 問3 36% 問4 26%  
問5 78% 問6 84%
- 2 問1 A 84% C 73% E 63% G 73%  
問2 記号 38% 名前 47%
- 3 問1 26% 問2 63% 問3 23%  
問4 84% 問5 73% 問6 57%
- 4 問1 (1)36% (2)31% 問2 21% 問3 63%  
問4 (1)63% (2)0% (3)26%

### 3 回 午 前

#### ○各問題の正答率

- 1 問1 (1)50% (2)75% (3)37.5% (4)62.5%  
問2 (1)87.5% (2)0% (3)25%
- 2 問1 62.5% 問2 水溶液 87.5% 変化 87.5%  
問3 87.5% 問4 62.5% 問5 12.5%
- 3 問1 12.5% 問2 100% 問3 87.5%  
問4 50% 問5 37.5% 問6 37.5%
- 4 問1 (1)50% (2)50% (3)50%  
問2 (1)75% (2)75% (3)37.5%

### 理科の分析と解説

例年通り、物理、化学、生物、地学の4分野より均等に。教科書レベルの基本的な問題が多く出題されている。選択肢から記号を選ぶ問題も多く出題されているが、選択肢の中から複数選ぶものなどは毎年、正答率が低くなる傾向がある。今回は、小惑星「イトカワ」やその探査機「はやぶさ」に関する問題も出題された。今後も、最新のニュースなどに耳を傾けておく必要がある。また、季節を感じ、普段の生活の中で身近ないろいろな現象を注意深く感じていることも大切である。3回の試験を通じて、文章で答える問題や計算をする問題の正答率が下がる傾向があるので、そのようなものにも対応できる十分な学習をしておくと思われる。